

(様式)

令和5年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立大森東中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・タブレットやホワイトボードを用いた、話し合い・発表の活動を行うことで、課題解決能力、言語表現力の育成をすることができた。
- ・単元のまとめを文章で表現させることで、思考力、表現力を育成することができた。
- ・調べ学習と発表活動を行うことで、思考力、判断力、表現力を育成することができ、主体性をもって学習に取り組む機会を得られた。

(2) 課題

- ・どの学年も目標値を下回った。基礎的な学習内容の定着が課題である。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率 (経年比較)

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	目標値▽7.1		
第2学年	目標値▽8.6	目標値▽8.0 (第1学年時)	
第3学年	目標値▽6.1	目標値▽2.3 (第2学年時)	目標値▽1.4 (第1学年時)

(2) 分析 (観点別)

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値▽6.4 電気器具のはたらきに関する設問で目標値を下回った。	目標値▽8.0 グラフの読み取りに関する設問で目標値を下回った。	目標値▽11.0 顕微鏡の操作に関する設問で目標値を下回った。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値▽10.0 植物の分類に関する設問で目標値を下回った。	目標値▽7.3 動物の分類に関する設問で目標値を下回った。	目標値▽6.2 地層の堆積に関する設問で目標値を下回った。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値▽5.2 化学反応における質量変化のグラフに関する設問で目標値を下回った。	目標値▽7.2 気体の同定と発生方法に関する設問で目標値を下回った。	目標値▽7.8 動物のからだのつくりとはたらきに関する設問で目標値を下回った。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>基本的な実験に取り組ませるとともに、必要に応じて器具の使用法の技能指導を個別に行い、観察実験の技能を身に付けさせる。</p> <p>小テストを行い、基礎基本の知識の定着を図る。</p>	<p>タブレットを用いた意見交換活動を行い、思考力・判断力・表現力の育成を図る。</p> <p>調べ学習を学期に1回設定し、思考力・判断力・表現力を育てる。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>授業の振り返りを行い、自らの学習を調整しようとする態度を育てる。</p> <p>調べ学習を学期に1回設定し、自分なりのテーマや目的を持って学習に取り組む態度を育む。</p> <p>家庭学習の習慣を身につけさせる。</p>

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>基本的な実験に取り組ませるとともに、必要に応じて器具の使用法の技能指導を個別に行い、観察実験の技能を身に付けさせる。</p> <p>小テストを行い、基礎基本の知識の定着を図る。</p>	<p>きめ細やかなノート指導と形成的評価を行い、思考力・判断力・表現力を育てる。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>小テストを行い、粘り強い取り組みを行おうとする態度を育てる。</p> <p>授業の振り返りを行い、自らの学習を調整しようとする態度を育てる。</p> <p>家庭学習の習慣を身につけさせる。</p>

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>観察実験の際は、予想→実験→考察→結論の過程を重視し取り組ませる。また、問題解決などの目的意識をもった上で観察実験に取り組ませ、観察実験の技能を育てる。</p> <p>小テストを行い、基礎基本の知識の定着を図る。</p>	<p>主体的に考える時間を設定し科学的な思考力の育成を図る。</p> <p>タブレットを用いた意見交換活動を行い、思考力・判断力・表現力の育成を図る。</p> <p>調べ学習を学期に1回設定し、思考力・判断力・表現力の育成を図る。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>小テストを定期的に行い、粘り強い取り組みを行おうとする態度を育てる。</p> <p>定期考査の振り返りを行わせ、自らの学習を調整しようとする態度を育てる。</p> <p>1, 2学年の教材に適宜取り組ませ、復習させるとともに家庭学習の習慣を身につけさせる。</p>